



トヨタ パッソ ダイハツ ブーン

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1022/1023/1024/1025

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品 交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品 交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製糸を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化 変形 変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラツィオ アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされますと、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輻への損傷、車輻の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取り付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

1 列目座面ベンチシート

*セパレートシートタイプは5ページからご覧下さい。



①始めにシートリフターのレバーを外します。ヘラ等を使用してプラスチックキャップを外します。



④シート裏の金属部分に引っ掛け固定されている配線を、シート裏から引き抜きます。



②ドライバーを使用してネジを2本外すとレバーが外れます。



⑤図の矢印位置を押すことでカプラー部分が外れます。カプラーを外すと配線からゴムが外れます。



③シート背面からシート裏まで覆っているカバーを外します。カバーはゴムで座面裏に引っ掛け固定されています。ゴムを外すにはシート裏の配線が交差しているため、配線を一度外す必要があります。



⑥助手席側はシートアンダートレイを固定している金属部品を外しないとゴムが外れません。金属部品はドライバーを使用して外します。



⑦シート背面下から、シートの裏まで覆っているカバーをゴムの引っ掛けを取り、外します。

※1ページの⑤、⑥で外した配線、金属部品を戻し忘れないように、ご注意ください。



⑩カバーの加工穴からシートリフターのダイヤル部分を取り出します。



⑧シートカバーをかぶせていきます。始めにリクライニングレバーの先端にカバーの加工穴を通して、生地伸びを利用して取り出します。



⑪シート全体にカバーをかぶせます。



⑨リクライニングレバーの軸に、生地を入れ込みます。

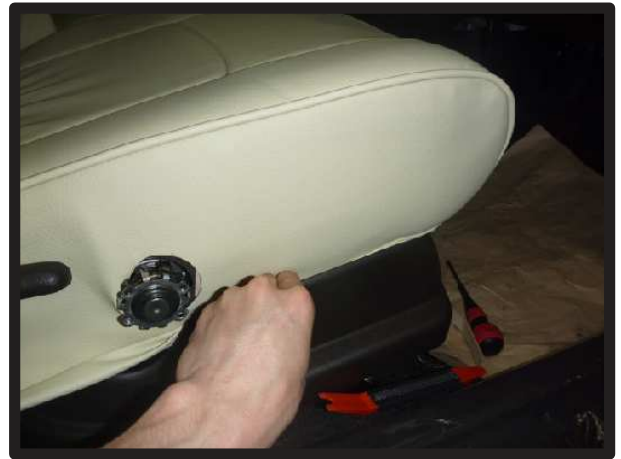


⑫背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。

1 列目座面 ベンチシート続き



⑬ 2 ページの⑫で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑭ カバー両側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑮ アームレスト下部分のシートに、矢印方向へ引っ掛けるようにカバーをかぶせます。



⑯ カバー側面の背面から出ているヒモを結び留めます。ヒモは始めに片方のヒモで輪を作ります。



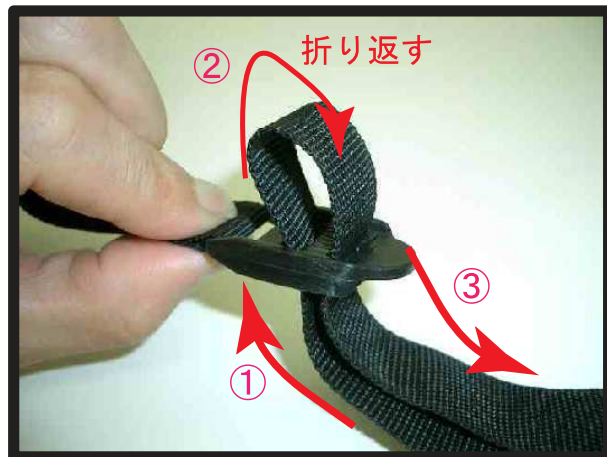
⑰ ⑬の生地と⑭の生地を端に付いているマジックテープで固定します。



⑱ 作った輪にもう片方のヒモを通し、シート下回りを絞り込んで結び留めます。ヒモは強く引きすぎると切れる恐れがありますので、ご注意ください。



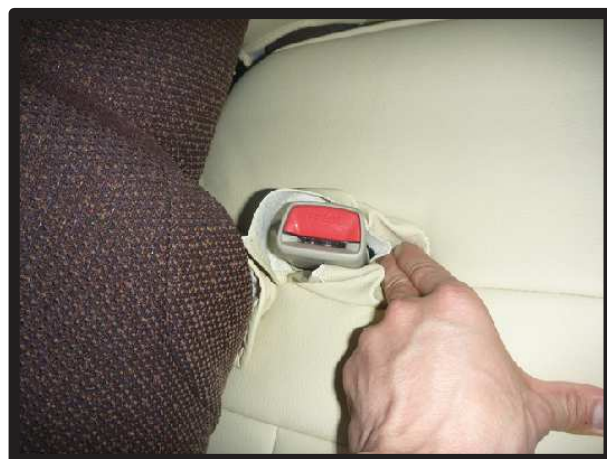
⑱カバー前方に3本のベルトが付いています。



⑳バックルの固定は、①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫い目から切れる恐れがありますので、ご注意ください。



㉑ベルトはシート裏を通して、シート背面から引き出します。この際ベルトはスライドレバーの上を通すようにして下さい。



㉒シートベルトバックルが出ている隙間に生地を入れ込みます。



㉓ベルトを3ページの⑬で引き出した生地に付いているバックルと固定します。



㉔カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側は5ページ6ページのセパレートシートの取り付けを参考にして下さい。

1 列目座面 セパレートシート



① 1 ページの③④⑤を参考に配線を外し、図のシート背面下からシート裏まで覆っているカバーを外します。



④ シート内側のシートベルトバックルをかわしてカバーをかぶせます。



② シートカバーをかぶせていきます。始めにリクライニングレバーの先端からカバーの加工穴を通して、生地伸びを利用して取り出します。



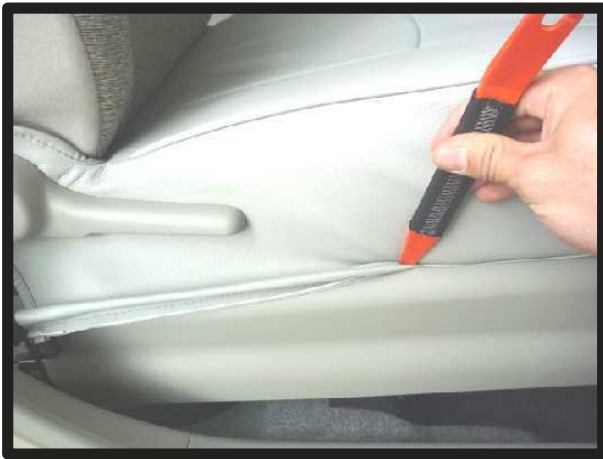
⑤ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



③ リクライニングレバーの軸に、生地を入れ込みます。



⑥ 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦カバー両側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑩ベルトを5ページの⑥で引き出した生地についているバックルと固定します。



⑧カバー側面の背面から出ているヒモを結び留めます。
※ヒモの結び方は3ページの⑰⑱を参考にしてください。



⑪バックルの固定は、①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫い目から切れる恐れがありますので、ご注意ください。



⑨カバー前方についているベルトを、シート裏を通してシート背面から引き出します。この際ベルトはスライドレバーの上を通すようにしてください。



⑫カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ ベンチシート

*セパレートシートタイプは9ページからご覧下さい。



①アームレストを外します。
ヘラ等を使用してプラスチックキャップを外します。



④2ページの⑦で外したカバーを、めくり上げて背もたれカバーの中へ入れ込みます。



②ラチェットレンチ等を使用してボルトを外します。



⑤カバーをシートのラインからずれないように全体にかぶせます。



③シートカバーをかぶせていきます。カバーを半分ほど裏返してかぶせませす。この際背もたれの肩口までしっかりとかぶせて下さい。



⑥ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。台座の片側に生地をしっかりと入れ込みます。



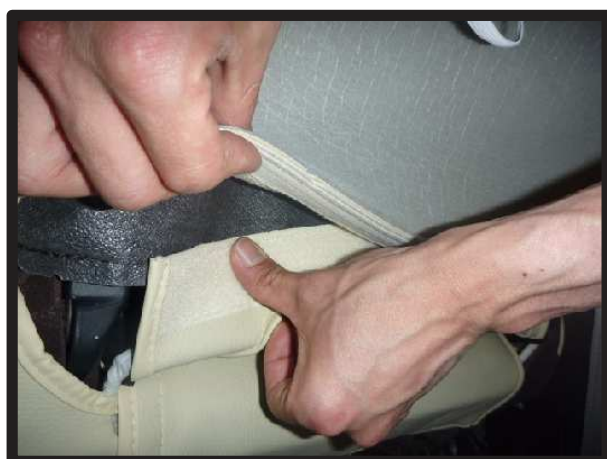
⑦生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑩入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワが無くなるまで続けて下さい。



⑪引き出した生地と、カバー背面のポケット裏の生地をマジックテープで固定します。

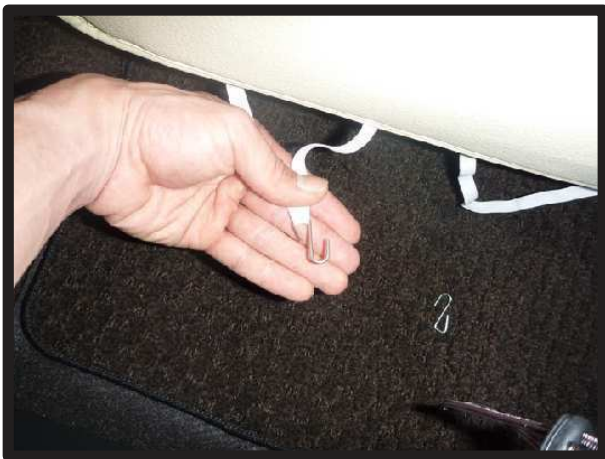


⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑫座面カバーから出ている生地を、背もたれカバーの付け根の隙間に入れ込みます。

1列目背もたれ ベンチシート続き



⑬シート背面下のカバーに付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑭S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛け固定します。
S字フックで固定するとシート背面下は図のようになります。



⑮カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

1列目背もたれ セパレートシート



①カバーを半分ほど裏返してかぶせませす。この際ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせて下さい。



②5ページの①で外したカバーを、めくり上げて背もたれカバーの中へ入れ込みます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦シート背面のカバーに付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



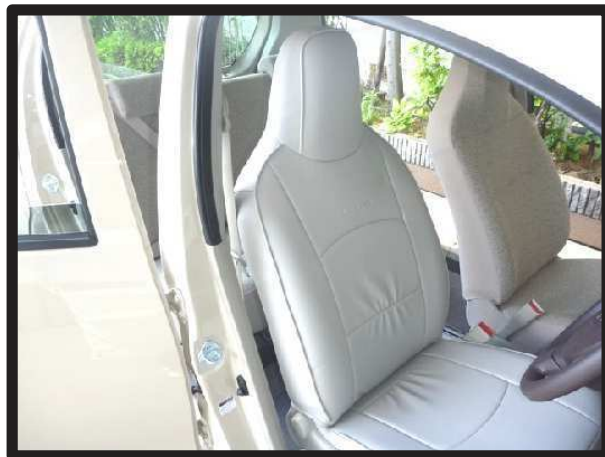
⑤①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワが無くなるまで続けて下さい。



⑧S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛け固定します。S字フックで固定するとシート背面下は図のようになります。



⑥④で引き出した生地と、カバー背面下のポケット裏の生地をマジックテープで固定します。



⑨カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面

*ベンチシート・セパレートシート共通



①カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



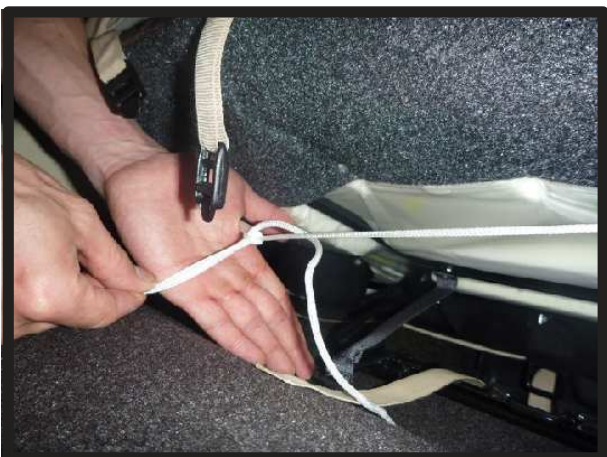
④カバー前側に付いているベルトをプラスチック部の内側へ入れ込みます。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤シートを跳ね上げてカバー前後から出ているベルトをシート裏で固定します。



③シートを跳ね上げてカバー側面から出ているヒモを、シート裏で絞り込み結び留めます。



⑥カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側は一部形状が異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

2列目背もたれ

*一部改良前のベンチシート運転席側の図を使用していますが、取り付け方法は共通です。



①シートにゴムで固定されているシートベルトバックルを外します。



④ヘッドレストの台座を取り出します。



②カバー背面のファスナーを開きシートにかぶせます。始めにカバーの加工穴からシート固定金具を取り出します。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③生地を内へ寄せながらカバー背面のファスナーを慎重に閉じます。



⑥入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。

2列目背もたれ続き



- ⑦12ページの⑥で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



- ⑧シートカバーに付いているゴムに最初に外したシートベルトバックルを固定します。



- ⑨カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
ベンチシート助手席側、セパレートシートタイプの背もたれ形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

1列目ヘッドレスト

*ベンチシート用



- ①カバーを半分ほど裏返してヘッドレストにかぶせます。ヘッドレストの先端までしっかりと入れ込んで下さい。ヘッドレストは平らなプラスチック部材が付いている方が前側です。



- ②ヘッドレストのラインからずれないように、左右均等にカバーを引き下げて、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- ③シートからヘッドレストを外して、ヘッドレスト裏でプラスチックフックで固定します。

2列目ヘッドレスト

*ベンチシート、セパレートシート共通



④プラスチックフックの固定方法はカギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共にはめ込み固定します。



①ヘッドレストの先端から矢印方向へかぶせていきます。
※図は一部改良前のモデルを使用しています。一部改良後のモデルは15ページからご覧下さい。



⑤ヘッドレスト裏は図のようになります。



②ヘッドレスト裏でプラスチックフックを固定すると図のようになります。



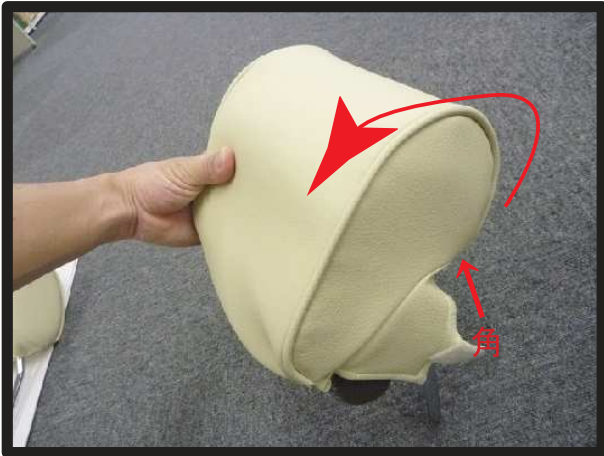
⑥ヘッドレストをシートに戻して、1列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレストをシートに戻して、2列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト

*一部改良後のモデルです



①ヘッドレストの後ろ側の角に引っかけるようにして、矢印方向へかぶせていきます。



④2列目ヘッドレストの完成です。



②ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。



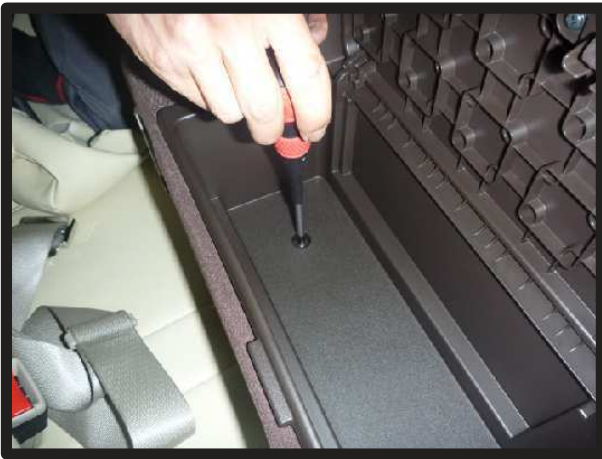
⑤2列目中央ヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



③1列目ヘッドレストと同様にプラフックで固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。

1 列目アームレスト

*ベンチシート用



①ふたを開けるとネジがあります。ドライバーを使用しネジを外します。



④アームレスト先端の生地をめくり上げるように、アームレスト全体にかぶせます。カバー先端の両端に負荷がかかりやすいため、作業は慎重に行ってください



②ボックスを矢印方向へスライドさせるように引き抜きます。



⑤アームレスト全体にカバーをかぶせると図のようになります。



③アームレスト後ろ側からカバーをかぶせます。



⑥ボックスを元へ戻します。この際カバー両端の生地を巻き込んで戻しても良いのですが、ボックスを戻す作業が困難になるため、カバー両端の生地は外へ出したままにしておきます。

1 列目アームレスト続き



⑦ボックスが確実に固定されているのを確認してから、カバー両端の生地をアームレストとボックスのフチに入れ込みます。ヘラ等を使用すると作業が行ないやすくなります。



⑩ボックスふた部分は図のようになります。



⑧両端の生地をアームレストとボックスのフチへ入れ込むと図のようになります。



⑪アームレストをシートへ戻します。最後にアームレスト背面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



⑨ボックスのふたにカバーのフックを生地と共に180度折り返して、ふたのフチに引っ掛けて固定します。固定した際に生地の手がふたの内側に来



⑫1 列目アームレストの完成です。
※ふたを開けた際、生地が浮いてしまいます。弊社のシートカバーの構造上避けられない部分ですので、予めご了承ください。

完成図 ベンチシート セパレートシート

※一部改良前のモデルです



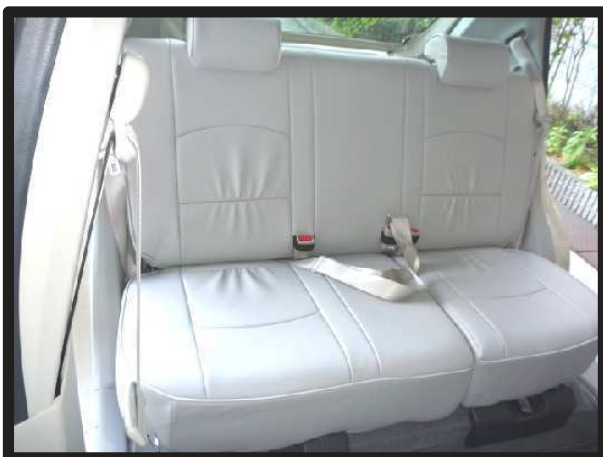
1 列目



1 列目



2 列目



2 列目



2 列目・フラットラゲージモード



2 列目・フラットラゲージモード



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



Elazzio

SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.11i.co.jp



「快適カーライフ空間創造企業」

ELEVEN
INTERNATIONAL

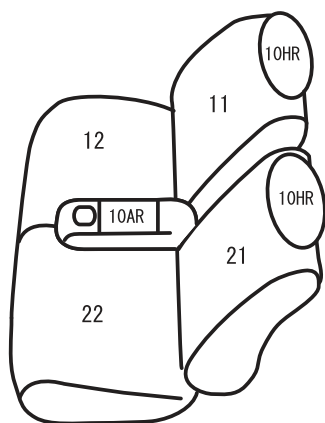
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

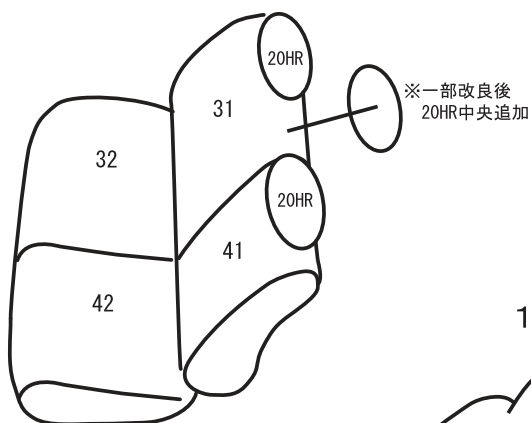
TEL 072-330-8000

FAX.072-330-8816

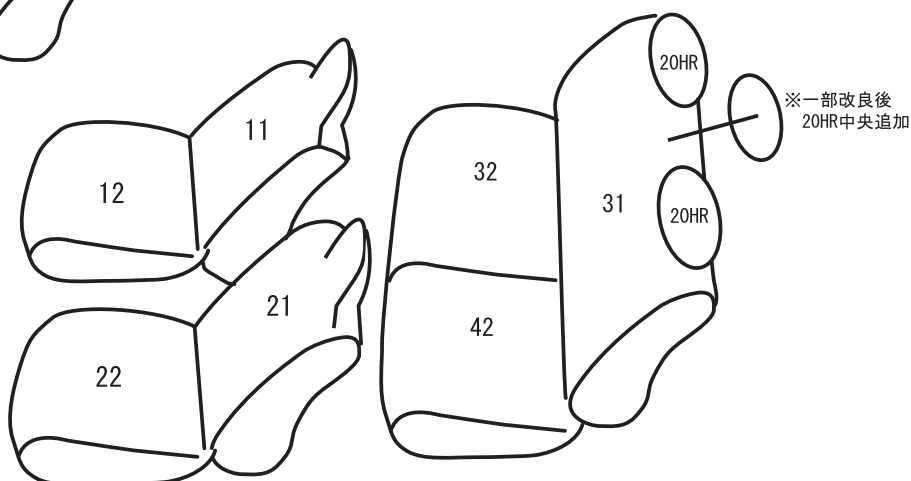
本製品シート形状とパーツの名称



1列目ベンチシート



1列目セパレートシート



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② +ドライバー
- ③ ヘラ (付属) ※ソケット14mm

* 1列目セパレートシートの車は①の工具は必要ありません。